

なななくい

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大鳥町4 2 4 番地の1 電話 059-252-1555 (代表)
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> F A X 059-252-1383

医療安全管理室 開設しました

近年、急成長し高度複雑化している医療現場の中で、さまざまな医療環境や医療の質についてのマスコミ報道が取り上げられるようになってまいりました。そこで、国民の皆様の医療への関心が急激に高まっています。特に、人の命の尊さや健康の維持促進を考えるべき医療機関において医療の質向上を目指した安全管理体制は最重要な取り組みであり課題といえるでしょう。

当院でも、平成15年より病院組織内に、安全管理委員会を設け医療の質確保に向け取り組んでまいりました。そこで、医療安全管理の充実と強化を図ることを第一優先とし、平成20年4月より医療安全管理室を設置するとともに、専従の医療安全管理者(専従のリスクマネージャー)を任命し、新たな医療安全管理体制をスタートさせました。

医療安全管理者 看護長 松嶋 文子

平成20年2月から安全管理者として活動しております。当院へお越しになった患者様に質の良いケアが提供でき、安心して医療を受けて頂けるように、環境を整え、同時に医療事故防止と安全確保に向けて取り組んでいます。



介護福祉士副主任 さらに2名誕生

七栗サナトリウム看護部に新しい職種「介護福祉士」を仲間として迎え入れたのが平成11年です。

それまでは、「看護師・准看護師・診療補助」の職種が看護チームとして働いておりました。平成11年、七栗サナトリウムに毎日リハビリ訓練を実施する施設を増築する事が決まっておりました。そこで、看護師ではなく他の職種で「患者様の身近にいて入院生活の支援が出来る職種を仲間を迎え入れよう」と考え、初めて介

護福祉士という仲間を迎え入れたのです。

そして、月日の流れと日々の積み重ねにより患者様・ご家族の方々と触れ合うなかで、介護福祉士は確実に自分たちの役割と業務を確立していきました。その業績が認められ、平成18年11月に初めて介護福祉士副主任2名が誕生し、平成20年度には新たに2名副主任が誕生しました。今回、新旧加えまして介護福祉士副主任4人衆をご紹介します。

看護部3階病棟 介護福祉士副主任 舟橋亮平

4月1日より、介護福祉士副主任になりました船橋亮平です。

2000年4月から七栗サナトリウムに就職し、2階から3階へと病棟は変わっておりますが、回復期リハビリテーション歴8年目でございます。私が働き出した8年前と比べ、介護福祉士を取り巻く環境は、目まぐるしく変わっております。病院での介護福祉士に要求されるケアのあり方が、集団的ケアから、一人ひとりに寄り添う個別ケアに向かっております。

私が所属する3階病棟回復期リハビリテーション病棟のみならず、七栗サナトリウムの介護福祉士は、どの職種よりも患者様のそばにいる時間が長く、皆様も緑の服をよく見かけられると思います。そのような立場を生かし、各々の患者様目線の、病棟生活、環境改善に、介護福祉士全員

で取り組んでいきたいと考えております。職員各位をはじめ、患者様皆様のご理解を心からお願い申し上げます。



看護部デイケア 介護福祉士副主任 早川ゆか

このたび、4月1日付にて介護福祉士副主任の任命を受けました早川ゆかと申します。

現在私は、デイケアで働かせていただいております。

介護という職務のなかでレクリエーションを企画運営したり、最近では介護予防の観点から体操やストレッチ、筋肉トレーニング等を利用者様個々にプログラムを組み行っています。

障害者スポーツ指導者の資格を生かし、高齢者や障害者の方々がより元気に笑顔で過ごしていただけるように創意工夫をしながら、私も一緒にトレーニングしております。

運動はあまり楽しいものではありませんが、そこに笑いやりがいがあれば継続できると考えています。

実際、筋肉トレーニングを始めてびっくりしたのは、高齢者の方々が張り切って運動していると

ということです。私も負けていけないので、お互いのパワーを感じながら今後も介護福祉士という仕事に従事したいと考えております。



看護部2階病棟 介護福祉士副主任 天花寺満城

はじめまして、私は2階回復期リハビリ病棟所属、介護福祉士副主任の天花寺と申します。私達、介護福祉士は患者様がリハビリテーションセンターで受ける歩く事、自分の身の回りの事ができる訓練を、そのまま病棟でもして頂けるよう、そして患者様が自分自身の力を発揮して頂けるよう援助を行っています。また1日を通して患者様が安全にそして安心してすごして頂ける環境が提供できるように患者様の身の周りの整備も行います。しかし、患者様の入院生活には幾多の困難があり、1つの事が行えるようになれば、すぐに次の課題に挑戦していくという繰り返りで、心身ともにストレスが蓄積しやすい環境です。そこで業務を進める中でも患者様とのコミュニケーションを意識し、患者様の想いを知って介護ができるよう指導しています。さらに、患者様本人とご家族様が幸せで楽しい時間を過ごしていただき、活動意欲の向上に繋がる事が私たちにとって最大の目標です。まだまだ十

分ではありませんが、これからも元気に生き活きと笑顔で仕事をしていきます。どうぞ、お気軽に声をかけて下さい。いつでも皆さんの声をお待ちしています。



看護部5階病棟 介護福祉士副主任 西川一枝

昨年は副主任としてではなく、1人の介護福祉士として介護研究を行ったことが、私にとっては一番頑張ったことでした。その為、患者様や病棟スタッフには迷惑をかけ、副主任としての役割を果たすことが出来なかったと思います。しかし、研究を院外で発表したり委員会での役割を遂行することで、少しではありますが、副主任としてモデルとなれたのではないのでしょうか。また、研究を行ったことで、以前よりも患者様の日々の変化に気づける様な関わりを大切にすることができたと思います。今年度は、患者様の日々の変化に気づける関わりだけではなく、個々の思いを理解し、安心して入院生活を送れるように、さりげないお手伝いをさせて頂きたいと思います。そして、介護福祉士だけでなく、看護師、セラピスト、医師など医療チーム

全ての人々との交流を図れるようにし、いつまでも患者様に寄り添うことができる介護士でありたいと思います。



病院からのお知らせ

外来医師担当表

平成20年4月1日 現在

	月	火	水	木	金	土
内科	松本教授	中野准教授	※1交代制	松本教授	中野准教授	※1交代制
外科	東口教授	伊藤准教授	東口教授	村井医師	定本医師	児玉医師
リハビリター	園田教授	近藤教授	岡崎医師	※2交代制	岡本医師	※3交代制

※1 内科 水・土曜日は松本教授・中野准教授が交代で診察します。

※2 リハビリテーション科木曜日は園田教授・近藤教授が交代で診察します。

※3 リハビリテーション科土曜日は1週目：前田医師、2週目：水野医師、3週目：平野医師
4週目：前田医師、5週目：水野医師が交代で診察します。

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 理念・基本方針

理念

「独創一理」の建学の精神に基づき、積極的に新しい 医療を提供して、患者様から信頼される病院を目指します。

独創一理 とは

独創的な学究精神を堅持し、心豊かな人間性や連帯精神を育みつつ、真理を探究すること

基本方針

- ・ 科学性と専門性の高い独創的なリハビリテーション、緩和ケア、リウマチ医療、栄養サポート、高齢者医療を追求することで、地域に貢献します。
- ・ 患者様、ご家族のお話を聴き、十分説明を行い同意を頂いて医療を行います。
- ・ 個人情報保護に努め、患者様の選択の権利を尊重します。